

実績調書の概要

1. 調書は平成19年度実施計画に基づき策定した。
2. 今回の調書は、平成19年度末現在で調査したもので、本大綱の最終報告書の資料として活用する。
3. 複数課にまたがる実施項目については、主担当課の実績事例を掲載した。

4. 表中

進捗状況は

- 「実施済」：既に実施済みのもの
- 「一部実施」：実施内容のうち一部実施済みのもの
- 「継続中」：継続して実施しているもの
- 「準備中」：実施可能だが現在準備中のもの
- 「修正」：内容修正のうえ実施、あるいは他に代替して実施するもの
- 「検討中」：実施の可能性をもとめて検討作業をすすめているもの
- 「困難」：検討の結果、想定したほどの効果がない、困難なわりには効果が薄い、期間中での実施が困難などの理由で見送っているもの等に大別した。

5. 達成率

実施項目110項目中

「実施済・一部実施・継続中」	：	94 項目 (85.45%)
「準備中」	：	2 項目 (1.82%)
「修正」	：	0 項目 (0.00%)
「検討中」	：	10 項目 (9.09%)
「困難」	：	4 項目 (3.64%)

平成19年度目標37項目中

「実施済・一部実施」	：	19 項目 (51.35%)
「継続中」	：	6 項目 (16.22%)
「準備中」	：	1 項目 (2.70%)
「修正」	：	0 項目 (0.00%)
「検討中」	：	8 項目 (21.62%)
「困難」	：	3 項目 (8.11%)

6. 削減効果は、「実施済」及び「一部実施」の項目のうち、具体的に数値化できる項目のみを掲載した。

削減効果(平成17年度)	約	69,978 千円 / 年	
削減効果(平成18年度)	約	198,706 千円 / 年	累計 268,684 千円 / 2年
削減効果(平成19年度)	約	341,069 千円 / 年	累計 609,753 千円 / 3年

平成19年度行政改革実績のまとめ

〔平成19年度実施項目に関する事項〕

平成19年度実施項目の37項目のうち「実施済・一部実施」と達成した項目が19項目(51.35%)で、前倒して実施した「継続中」の6項目と併せて25項目(67.57%)が達成済みとなったが、単年度の達成率としては若干低くなった。主な要因として大幅な制度改正などを要する取組項目で検討に時間が足りなかった、大綱策定時と社会情勢などの状況が変化し達成が困難になったなどの理由が考えられる。

〔実施項目全体に関する事項〕

実施項目110項目のうち「実施済・一部実施・継続中」の達成済み項目が94項目(85.45%)で、約6億1千万円(目標5億5千万円:110.91%)の削減効果額となり、ほぼ計画どおりに達成できた。

また、今大綱で未実施となった16項目のうち、2項目については今後も実施が困難の見通しであるが、その他の13項目については次期大綱や各担当課で引き続き実現に向けて検討していくこととした。

(1)実施困難	水道事業の広域的企業合併 情報システムのASP利用促進	
(2)次期大綱で検討	公共工事に係わる入札・検査等の見直し 変形労働時間制の活用(再掲含む) 下水道事業計画の見直し 水洗化率の向上及び下水道使用料の見直し 総合行政ネットワークを利用した電子自治体の構築	小学校給食調理業務の民間委託 職員駐車場の有料化 水道料金の改定 組織の再編・課・係の見直し
(3)各担当課で検討	公共施設の管理の一元化 高齢者住宅改造助成事業の見直し	議会本会議の庁舎内放送 監査報告のホームページの掲載

行政改革推進委員会の意見(平成19年度及び大綱全体の実績についての意見)

保育園の民営化(南町保育園)の際、土地については無償貸与、建物は無償譲渡しているが、今後は有償での貸与や売り払いなどを検討する必要がある。削減効果額について、目標額を上回ったことは評価したい。職員数の削減により、住民サービスの低下をまねかないよう民間活力を利用するなど創意工夫を図ってほしい。